



Race Report



ニュルブルリンク 24 時間耐久レース 2016

(2016.05.26-29)



Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29

BRP
BIRTH RACING PROJECT

BRP奥村選手・梅本選手・浜野選手の日本人トリオ、 ニュルブルリンク24時間耐久レース SP3クラス「ロードランナーレーシング No.118 ルノークリオCUP」はSP3クラスを悲願の優勝のタイトルを獲得!

Birth Racing Project【BRP】は2016年5月26日～29日ドイツ、ニュルブルリンクで開催された「ニュルブルリンク24時間耐久レース2016」において、宿敵ニュル名物オペルマンタとタイラントトヨタ勢との激戦の中、悲願のSP3クラス優勝のタイトルを獲得しました。

【5月26日(木)公式1次予選】天候:雨 路面:WET

4時間の予選時間では、雨が降り出しWETへの難しい路面コンディションでしたが、クラス6位で無事に4名とも基準タイムをクリアして、明日の公式2次予選に向けて、車両の温存を図る為に早めに予選を切り上げました。

【5月27日(金)公式2次予選】天候:晴れ 路面:WET→DRY

昨日に引き続き、早朝よりWEBコンディションからDRYの難しい状況の中1時間半の2次予選が開始されました。明日からの24時間耐久レースに備えて、リスクを最小限に抑える為、第2予選への参加をキャンセルして明日の決勝レースに向けて、車両温存及びリスクヘッジを行いました。

昨日よりも路面コンディションが良い状況の第2予選の不参加により、その結果クラス8番手からのスタートとなりました。コースの特性上、予選自体もかなりリスクが高いため、予選の順位は意識せず、決勝レースの24時間後のサバイバルレースを生き残る為の戦略は既に予選から始まっています。





Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29

BIRTH RACING PROJECT

【5月28日(土)決勝(スタート)】

天候：曇り→雹→雨→曇り→晴れ 路面：DRY→WET→DRY

いよいよ24時間耐久レースがスタートするPM3:30を迎えました。天候・気温はそれほど高くなく、曇りのDRYコンディションでのスタートとなりました。スタートドライバーは奥村選手と共にニル24時間耐久レースの4年目を迎える、梅本選手が勤めました。

スタートから50分を経過した所で、コースの一部で大量の雹が降り出しニルの天候が牙を向いて襲いかかってきました。雹がコースを覆いスリップにより大量のレース車両がコース上に立ち往生する事になり、レースはコース復旧と天候が回復するまで約3時間赤旗中断となりました。

雨の中の再スタートは2年目の浜野選手が担当し無事にスティントを終えました。続いてドイツ人ドライバーのLutz Marc Ruhl選手が日没の時間帯のスティントを担当して、続いて奥村選手から夜間スティントを担当しました。ここまで順調にレースを展開して、クラス3番手まで順位を上げていましたが、ここから波乱が再び襲いかかりました。





Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29

BIRTH RACING PROJECT

WET路面からDRY路面に変化する非常に難しいコンディションの中、奥村選手はスリックタイヤで走行をスタートしましたが、第1予選から発生していた、ヘッドライト及びサブライトが片側だけ点灯しなくなる電装系トラブルが再び発生しながら漆黒の北コースを走行する事になりました。レコードラインのみが乾いている状態の中ライトの光量が不足している状態で走行を続けますが、ラインを外した瞬間に非常に狭くエスケープゾーンも無い北コースでコントロールを失い2度スピンアウトしましたが、奇跡的に接触はなくコースに復帰して、なんとかコース上に留めながら周回しました。スピンアウトした際にリアディフューザーに損傷があり、パーツを引きずりながらの走行となった為に、念のためにその修復の為奥村選手のスティントを予定よりも少し短くして、梅本選手に交代しました。梅本選手も引き続きヘッドライトの不調で光量が足りない状態で走行を続けて、なんとかクラス2位のポジションを確保しながらレースを展開していきました。しかしそのままレース中ヘッドライトは回復する事なく、夜から朝焼けスティントを再び奥村選手が走行を行いました。その間ライバルのタイラントトヨタにも車両トラブルが発生して、コースが明るくなった頃には首位のポジションでレースを周回しました。その後は浜野選手・Lutz選手・梅本選手・奥村選手の予定スティントを各ドライバーがパーフェクトな仕事をこなして、結果的に2位に3LAP差をつけて、参戦4年目にしてSP3クラス優勝のタイトルを獲得する事ができました。





Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29

BRP
BIRTH RACING PROJECT

【ニュルブルリンク24時間耐久レース2016 SP3クラスレース結果】

- 1位 No.118 ロードランナーレーシング(ルノークリオ)奥村・梅本・浜野・Lutz組
2位 No.123 Toyota Team Thailand(カローラ アルティス)Arto・Nat・Ton・Man組
3位 No.150 AC1927Mayen e.V.i.ADAC(ゴルフⅢ)Ralph・Sebastian・Ralf・Carsten組

【コメント】

ニュルブルリンクにチャレンジを開始して5年目で、4回目のニュル24時間耐久レースでしたが、2013年:3位、2014年:リタイア、2015年:2位、そして今年2016年SP3クラス優勝と悲願を達成する事ができました。この結果を得たのもJ-Sports生中継・ストリーム配信・SNSなどから沢山の応援メッセージを日本やドイツから頂き元気と勇気を頂けたので、結果を残す事ができました。この場を借りて心より感謝をお伝えしたいと思います。本当にご声援ありがとうございました。来年以降も引き続き、ニュルへの挑戦は続けていく予定ですので引き続きのご支援ご声援何卒よろしくお願い致します。また最後に、日頃のBRPの全てのレース活動にご支援・ご声援を頂く全ての方に深く感謝申し上げます。今後とも何卒よろしくお願いいたします。

BRP代表 奥村浩一





Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29





Birth Racing Project

Press release - 2016. 05.26-29

BRP
BIRTH RACING PROJECT



プレスリリースに関するお問い合わせ先： office@brp.gr.com

